

---

---

# 巻 頭 言

本学会の機関誌『パーソナルファイナンス研究』（No.11）をお届けします。

小額投資非課税制度（NISA）が1年前に大幅に拡充され、口座数は2,560万で、18歳以上人口の4人に1人にまでになりました。投資にはリスクを伴うので消費者の金融リテラシーの向上が欠かせません。消費者の信用力を指数化した「信用スコア」を閲覧できるサービスも始まりました。こうした新しいサービスには独自性を追求することと同質化して正当性を確保することのバランスを考える必要があります。パーソナルファイナンスの分野では、新しい問題が次々に生まれてくることから、解決すべき研究テーマも次々に生まれてきます。

本号では、招待論文として「消費者金融市場から分化したヤミ金融市場に関する研究」の1編、査読付き論文として「ソーシャルレンディング産業における企業不祥事とその影響」と「起業の阻害要因と参照点の移動」の2編を掲載しています。

本機関誌は、全国大会での統一論題および自由論題をベースにした論文、自由投稿論文、招聘論文からなっています。本機関誌は、パーソナルファイナンス研究を理論的・実証的に前進させるための基盤を提供するものです。平素の研究活動の成果を全国大会で報告するとともに、自由投稿も含めて、会員の皆様のいっそうの寄稿をお願いする次第であります。

2025年2月

パーソナルファイナンス学会  
会長 坂野友昭